



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月5日

上場会社名 三共興株式会社

上場取引所 東

コード番号 8018 URL <http://www.sankyoseiko.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川崎 賢祥

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員社長室ゼネラルマネージャー (氏名) 下川 浩一

TEL 06-6268-5188

四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	30,369	3.8	2,501	△2.0	2,808	2.7	2,019	19.1
25年3月期第3四半期	29,259	2.3	2,552	△2.4	2,734	△4.5	1,695	△11.9

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 5,399百万円 (114.2%) 25年3月期第3四半期 2,521百万円 (225.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	44.63	—
25年3月期第3四半期	37.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	56,292	30,206	53.1
25年3月期	50,472	25,377	49.7

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 29,887百万円 25年3月期 25,063百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	12.50	12.50
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	12.50	12.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,800	8.0	2,900	62.9	3,100	58.8	2,200	162.7	48.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1社 (社名) SANKYO SEIKO(ASIA PACIFIC)CO., L TD.、除外 1社 (社名)

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期3Q	60,000,000 株	25年3月期	60,000,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期3Q	14,736,887 株	25年3月期	14,736,887 株
----------	--------------	--------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	45,263,113 株	25年3月期3Q	45,263,252 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表の四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年12月31日まで)におけるわが国経済は、日銀の金融緩和政策や政府の各種経済政策等のいわゆるアベノミクス効果に対する期待感から、円安の進行、株価の上昇、企業収益改善等、国内経済と社会の先行きには徐々に明るい兆しが見られるようになりました。

当社グループを取り巻く繊維・アパレル業界におきましても、平成25年の百貨店の年間売上高が全店ベースで16年ぶりに前年を上回るなど個人消費に対する回復期待もありましたが、繊維・アパレル市場にまでは個人消費の流れは浸透せず、さらに平成26年4月に予定される消費税率引き上げによる影響も読みにくく、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のなか当社グループにおきましては、消費者ニーズを的確に捉え商品の企画力や生産効率の向上を図るとともに、将来にわたり安定的な収益基盤を作り上げるため、グループの事業構造改革を強力に推し進めております。この過程におきまして一部事業の撤退に伴う影響も生じました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの売上高は前年同期比3.8%増の30,369百万円、営業利益は前年同期比2.0%減の2,501百万円、経常利益は前年同期比2.7%増の2,808百万円、四半期純利益は前年同期比19.1%増の2,019百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① ファッション関連事業

ファッションブランド商品の国内販売におきましては、主力販売先である百貨店との取引を消化取引に変更、商品消化率の向上など販売効率の改善や生産コストの削減に努めた事もあり、順調に推移いたしました。

さらに香港、中国、台湾などアジアを中心とした海外市場におきましても店舗の増設を図るなど販売戦略を強化しており、これに円安効果も加わりましたので増収増益となりました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比10.6%増の15,122百万円、セグメント利益(営業利益)は前年同期比31.1%増の2,341百万円となりました。

② 繊維関連事業

アパレル向けOEM事業におきましては、顧客ニーズに応える企画提案力の強化や供給体制の迅速化などに注力した結果、増収を確保しましたが、収益面では円安によるコストアップの影響により、利益率が低下、加えて原材料費加工費等の上昇も重なりましたので減益となりました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比6.5%増の9,410百万円、セグメント利益(営業利益)は前年同期比17.3%減の252百万円となりました。

③ 生活関連事業

タオル、寝装品、寝具などの販売におきましては、市場での競争が厳しく苦戦が続いております。特に事業構造改革として進めておりますタオルの直販事業からの撤退においては、これに伴う費用の増加や在庫の減損等も発生いたしました。

また、パジャマ、雑貨などのOEM事業におきましても、円安の影響を受け、原材料等の上昇もありましたので利益率が低下、減収減益となりました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比15.3%減の5,134百万円、セグメント損失(営業損失)は242百万円(前年同期は228百万円のセグメント利益)となりました。

④ 不動産賃貸事業

大阪の賃貸ビルをメインとして東京・横浜・神戸等の不動産に係る賃貸事業において、当第3四半期連結累計期間における売上高は前年同期比13.1%減の1,374百万円、セグメント利益(営業利益)は前年同期比30.3%減の395百万円となりました。

⑤ その他

物流倉庫事業、ビルメンテナンス事業、内装工事業等において、当第3四半期連結累計期間における売上高は前年同期比3.4%増の1,135百万円、セグメント利益(営業利益)は前年同期比296.3%増の35百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて2,294百万円(13.0%)増加し、19,884百万円となりました。これは現金及び預金が2,154百万円増加、受取手形及び売掛金が484百万円増加したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて3,525百万円(10.7%)増加し、36,408百万円となりました。これは投資有価証券が2,956百万円増加したことが主なものであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて5,820百万円(11.5%)増加し、56,292百万円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて291百万円(1.6%)増加し、18,981百万円となりました。これは未払法人税等が202百万円増加、支払手形及び買掛金が127百万円増加したことなどによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて699百万円(10.9%)増加し、7,104百万円となりました。これは繰延税金負債が1,150百万円増加した一方で、長期借入金263百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて991百万円(4.0%)増加し、26,086百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて4,828百万円(19.0%)増加し、30,206百万円となりました。これはその他有価証券評価差額金が2,051百万円増加、利益剰余金が1,454百万円増加、純資産から控除している為替換算調整勘定が1,300百万円減少したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績につきましては、平成25年5月15日の決算発表時に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、新たに設立した SANKYO SEIKO (ASIA PACIFIC) CO., LTD. を連結の範囲に含めております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,654	6,808
受取手形及び売掛金	7,018	7,503
商品及び製品	4,761	4,858
仕掛品	46	3
原材料及び貯蔵品	118	189
その他	1,013	544
貸倒引当金	△22	△23
流動資産合計	17,589	19,884
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,349	9,120
土地	3,861	3,855
その他(純額)	622	601
有形固定資産合計	13,834	13,577
無形固定資産		
商標権	4,151	5,039
その他	261	240
無形固定資産合計	4,412	5,279
投資その他の資産		
投資有価証券	13,793	16,750
その他	1,502	1,446
貸倒引当金	△660	△645
投資その他の資産合計	14,635	17,551
固定資産合計	32,882	36,408
資産合計	50,472	56,292

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,986	5,114
短期借入金	11,208	11,245
1年内返済予定の長期借入金	451	374
未払費用	1,284	1,130
未払法人税等	224	426
その他	533	690
流動負債合計	18,689	18,981
固定負債		
長期借入金	613	350
長期未払金	144	108
繰延税金負債	4,015	5,166
退職給付引当金	631	580
長期預り金	681	617
その他	318	282
固定負債合計	6,405	7,104
負債合計	25,094	26,086
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,000	3,000
資本剰余金	6,165	6,165
利益剰余金	18,648	20,102
自己株式	△5,235	△5,235
株主資本合計	22,579	24,033
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,340	7,392
繰延ヘッジ損益	△2	15
為替換算調整勘定	△2,855	△1,554
その他の包括利益累計額合計	2,483	5,853
少数株主持分	314	319
純資産合計	25,377	30,206
負債純資産合計	50,472	56,292

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	29,259	30,369
売上原価	17,209	18,076
売上総利益	12,049	12,293
販売費及び一般管理費	9,497	9,792
営業利益	2,552	2,501
営業外収益		
受取利息	3	5
受取配当金	286	327
貸倒引当金戻入額	1	18
為替差益	13	—
その他	40	97
営業外収益合計	345	448
営業外費用		
支払利息	81	73
事務所移転費用	—	16
為替差損	—	18
その他	82	32
営業外費用合計	163	141
経常利益	2,734	2,808
特別利益		
投資有価証券売却益	—	198
特別利益合計	—	198
特別損失		
投資有価証券評価損	86	0
減損損失	—	25
特別退職金	—	36
店舗閉鎖損失	—	13
特別損失合計	86	75
税金等調整前四半期純利益	2,648	2,932
法人税、住民税及び事業税	743	837
法人税等調整額	196	64
法人税等合計	940	902
少数株主損益調整前四半期純利益	1,708	2,029
少数株主利益	12	9
四半期純利益	1,695	2,019

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,708	2,029
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	371	2,051
繰延ヘッジ損益	12	17
為替換算調整勘定	429	1,300
その他の包括利益合計	813	3,369
四半期包括利益	2,521	5,399
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,509	5,389
少数株主に係る四半期包括利益	12	9

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ファッション 関連事業	織 維 関連事業	生 活 関連事業	不 動 産 賃貸事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	13,469	8,184	6,048	1,170	28,873	386	29,259	—	29,259
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	205	653	17	411	1,287	712	1,999	△1,999	—
計	13,674	8,838	6,065	1,582	30,160	1,098	31,258	△1,999	29,259
セグメント利益	1,786	304	228	567	2,887	9	2,896	△344	2,552

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流倉庫事業、ビルメンテナンス事業及び内装工事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△344百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△374百万円及びセグメント間取引消去等30百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

② 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年12月31日）

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ファッション 関連事業	織 維 関連事業	生 活 関連事業	不 動 産 賃貸事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	14,938	8,840	5,089	1,049	29,917	452	30,369	—	30,369
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	184	569	45	325	1,125	683	1,808	△1,808	—
計	15,122	9,410	5,134	1,374	31,042	1,135	32,177	△1,808	30,369
セグメント利益 又は損失(△)	2,341	252	△242	395	2,746	35	2,782	△281	2,501

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流倉庫事業、ビルメンテナンス事業及び内装工事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△281百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△673百万円及びセグメント間取引消去等392百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

② 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他	全社・消去 (注)	合計
	ファッション 関連事業	織 維 関連事業	生 活 関連事業	不 動 産 賃貸事業	計			
減損損失	—	—	17	—	17	—	8	25

(注)「全社・消去」の金額は、遊休資産等に係るものであります。